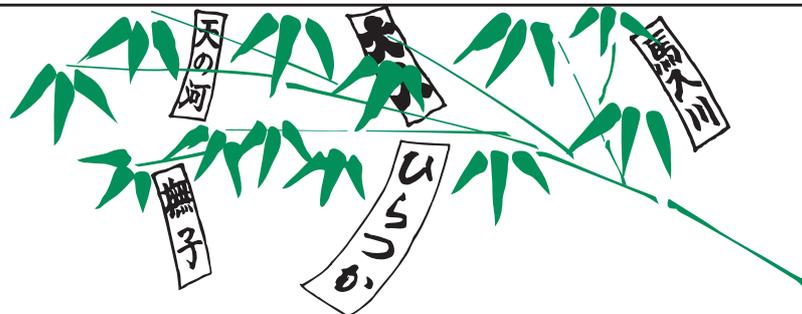




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
地域を育み、大陸をつなぐ



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ●副会長 小飯塚立雄 ●幹事 柏手 茂 ●会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2754回例会 2010年9月16日 グランドホテル神奈中 週報第2754号

本日の卓話者ご紹介

2010～11年度 第2780地区

会員増強・会員維持委員会

副委員長 秋森三男様
(相模原西RC)

家族委員会

委員長 河合賢治様
(鎌倉大船RC)



卓話

「会員増強・会員維持委員会」

相模原西RC 秋森 三男

ポールハリスは「この世の中は常に変化していて、我々はその変化に何時も準備しなければならない」といっています。発展途上国は別として、世界も日本も世代交代や会員減少が進んでいます。

◇第2780地区の現状は6月末現在、会員数2306名。退会者172名(女性会員10名)、入会者151名で純増マイナス21名の結果になりました。年度初めの7月1日2,257名純増マイナスが、結果的には2009年7月1日～2010年7月1日迄の一年間で純増マイナス70名になっています。このように会員減少は世界的な傾向です。減少はロータリー活動に影響が出てきています。第6グループでは今年度4名でスタートするクラブもあります。

◇第2780地区の目標は、後藤年度5%、森年度5%、菅原年度5%で合わせて15%、3年後にはRI提唱の地区最適会員数2700名に達成出来るよう目標を掲げております。◇会員増強・会員維持について(会員増強・会員維持委員会)

日本のロータリーの会員数は1998年6月末～2010年6月末迄の13年間を連続して減少しています。その傾向は今後も続きそうで、好転の気配は見えません。(9万人を割るといわれていたが、90,544名にとどまっている)

ロータリー関連の増強の資料や、各地区におけるあらゆる会合やセミナーでも改善策・解決策が熱心に検討されていますが、「これで大丈夫」と言える決定的な解決策は未だ見出されておりません。佐野英之委員長は会員増強の三要素に①新クラブの結成②新しい会員の獲得③既存会員の維持を挙げています。

◇新しいクラブの結成は年々減少しており、新クラブにエネルギーを出すよりは、今現在のクラブ会員を消滅させないよう努力したほうが良いと考えています。

地区内で、20名以下のクラブは要注意しなければなりません。それには、スポンサークラブやガバナー補佐、バスターガバナー等のご協力を得て小規模クラブの活性化を図り、愛情ある温かく力強い支援が必要です。安易に消滅や合併をさせないようにすべきです。

◇新しい会員獲得について

あらゆる組織は自然に任せておくと高齢・病気・死亡・転勤・人間関係の軋轢などで減少します。また、どんな組織でも会員減少は死活問題で、会員が多くなれば互いに触れあう摩擦熱で組織は活力や魅力を増してきます。その発する熱により新たな人を呼び込みます。会員を増やす事は組織の体力を強化し財政基盤を確立、充実した奉仕活動も可能になります。良質な市民をより多く、組織を何時もいきいきさせておく為には、常に新しい人材が必要です。ロータリーの最大の財産は「会員」であることは言うまでもありません。

「優秀な人材」という財産なくしてロータリーの崇高な理想の実現はありえません。ロータリーの会員を増強する事は、ロータリーの未来を託す人材を得る事にあります。そして私達は、次の時代への責任を果たす事にもなります。会員増強は「ロータリアン最大の奉仕」です。

会員の資格は……概に完成された人物ではなくて、会員として活動する中から素晴らしい職業人になってもらう。

入会促進の具体策の一番は、クラブ会長・増強委員長の強い意欲と熱意そして高い目標が必要です。職業分類表を再度見直し、情報集会グループごとの推薦会員全員は、候補者名簿を共有して全員で取り組むのが大事であり、一概には言えませんが資格基準・会費等は、もう少しゆるやかにすることが必要かと思えます。

会員減少の理由は、不透明な経済環境と中小企業経営者の高齢化、後継者不足、企業の減少、その他に増強・拡大を急ぎすぎ、情報教育が疎かになってきたと思えます。そのためロータリーを知らない会員が多くなり、会員一人一人の関心・愛情・熱意が薄れ、自らの組織に自信と誇りを失いかけていくように思えます。

ロータリーの魅力にも陰り「理念の無い組織は衰退する」といわれます。ロータリーは理念は有りますが会員に正しく伝えられていません。理念や本質が理解されていないために会員会の規範が薄れ、会員の事業所の不祥事も目立ち、社会の信頼すら損なわれ始めています。又、例会以外でのバッチ未着用会員も多く、ロータリアンの誇り・愛着も薄れつつあります。

既存会員の維持、退会の理由は色々あるとおもいますが、一つには紹介者・情報委員・先輩会員のフォロー不足が挙げられます。3年末満の退会者は、ロータリーの良さを体得しないまま、悪い印象のまま退会してしまいます。一旦入会した会員は絶対退会させない気構えを持つべきです。

(ロータリーは奉仕の理想を追い求めている団体) 理想とする会員増強は、

出席報告

本日 9月16日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 45(40)名	出席率 74.07%			
前々回 9月2日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 48(45)名	出席率 83.33%	MUP 3名	計 48名	修正率 88.89%

ロータリアンは人間的にも職業人としても素晴らしく有らねばならないとっています。ロータリーの会員企業であれば、日頃4つのテストやロータリーの綱領に照らし合わせて行動しているの、信頼・安心ができます。

「あんな人になりたい」、「あんな人の組織に入りたい」と地域の人々から言わしめるように、薄れつつあるかつての栄光を復興したいものです。

会員増強は一朝一夕には達成できません。増強のスーパーマンは存在しません。しかし、会員増強なくしてロータリーの未来は語れません。ポールハリスの提唱した精神は、新しい会員が誕生し、彼等が先輩ロータリアンから多くの事を学び、円熟度を増してこそ達成され、受け継がれていくのではないのでしょうか。クラブ再生を皆様の方で、13年間連続の会員減少に終止符を打つ布石を投じ、是非、今年度は会員一人一人の増強で、全てのクラブが純増に転じるきっかけになる年度にして頂きたいと思ひます。真の会員増強は、クラブ全員で熱意を込めて新たな会員を獲得し、しっかりとしたロータリー情報を提供して、会員に魂を入れることにあると思ひます。平塚RCの今年度クラブ純増目標は3名とのことですので、達成されることをお願いし、増強の卓話とさせていただきます。ありがとうございます。

「ロータリー家族委員会」

鎌倉大船RC 河合賢治

1995～96年度RIの理事会は、2月の第2週を「家族週間」と決めました。2003～04年度ジョナサン・マジニアペRI会長の時に12月を「家族月間」と定め、そして、「家族週間」は廃止されました。

「家族月間」の意義は、ロータリアンにプロジェクトや、活動行事を通じ家族と地域社会への献身を示すと共に、クラブ、地区は「ロータリー家族委員会」を設置し、会員とその配偶者や、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者等に家族的な心配りや、善意の行動と共に、友情を深め、さまざまな考えを分かち合い、そして、会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更に人道的奉仕活動を発展に繋げる事であります。

ロータリー家族には二つの概念があります。

● 一つは、配偶者、両親や子供、孫など掛替えの無い家族であり。最も大切なのは、自分たちの家族です。家族なくして、ロータリーの成功はありません。クラブの事業、ロータリー財団の事業など種々のプログラムは、個々の家庭による支えで実施されているのです。

● 二つは、クラブ会員はもとより、元会員とその家族、RA、IA、青少年交換学生、奨学生、R財団学友、ローテックス、GSE、米山学友、財団国際親善奨学生、世界平和フェロー、ライラリアン、ロータリー地域社会共同体、プロバスクラブ、米山学友友愛RC、インナーホイルクラブが在ります。

このようにロータリーに関係する全ての人々、組織を含めて「ロータリー家族」と呼んでいます。

家族委員会は、ロータリアンでないロータリー家族をロータリアンに呼び込もうと言う、会員増強をかんがえております。また、退会防止のための重要な活動であり続けるのです。

1989年の規定審議会ではようやく女性のロータリークラブへの入会が認められ、ロータリーはその歴史を介して、それまで男性による奉仕と親睦の組織が、男女の共同体に発展いたしました。そして、今では世界のロータリアンのうち12%が女性ですが、日本では4%であります。

そして、これからのロータリーが繁栄していくためには、適格な男女の会員をクラブに迎え入れる努力を絶えずして行かなければいけません。

又、亡くなられた会員の配偶者にも声をかけ、その方々をロータリーに入って戴くことです。

次の世代のロータリーのリーダーとなる若い世代の取り組みも大変重要であります。皆様ご存知の事と思ひますが、財団学友、米山学友で作られた

かながわ湘南RC・大阪ネクストRC・中部名古屋未来RC・福島グローバルRC・東京米山友愛RCが御座います。経済の長期低迷と不安定な経済環境、中小企業の経営者の高齢化、後継者不足、等で、会員がロータリーへの関心が薄れクラブに対して自信と誇りを失い掛けているのではないのでしょうか。ぜひとも、会員増・退会防止を皆様にお願ひいたします。

卓話者プロフィール

- 地区会員増強・会員維持委員会 副委員長 秋森三男様
所属クラブ 相模原西RC 1991年7月19日入会
榊秋森鉄筋 代表取締役
- 地区家族委員会委員長 河合賢治様
1990年3月 鎌倉南RC創立会員
1999～00年 鎌倉南RC会長
2005～06年 地区副幹事
2008年5月 鎌倉大船RCと合併
2009～10年 第2グループ ガバナー補佐
2010～11年 地区ロータリー家族委員長

＜会員報告＞

今村信夫会員

入院中にご心配いただき有難うございました。退院いたしました。



＜幹事報告＞

◎9/4(土)ホテルサンライフガーデンにて開催された、平塚北ロータリークラブ創立40周年の記念式典に、桐本会長が出席されました。そのお礼状が届いております。

◎9/10(金)～12(日)平塚八幡宮で開催されました「ぼんぼり祭り」が無事終了したと、賛助に対するお礼状と震災消除のご祈願をしていただいた御神札を頂戴しました。

◎厚木中ロータリークラブよりお知らせ

数年来、クラブ内でのIT化を推進し、ホームページの運営も出来るようになりました。これにより今年度よりクラブ会報は、必要により閲覧、印刷していただくこととし、他クラブへの配布を遠慮させていただきます。

厚木中ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.atsugi-naka-rc.com>

◎2010-11年度 クラブ広報・ITアンケートのお願い

締切：9/30(木)

◎職業奉仕卓話者派遣希望受付開始

10月は職業奉仕月間です。地区からの卓話者派遣希望を伺っています。

締切：9/20(月)

◎国際奉仕 クラブ活動状況調査にご協力ください。

前年度・今年度の各クラブの活動状況を伺い、結果を12/6(月)開催予定の国際奉仕セミナーにてご紹介したく、ご協力をお願い致します。

締切：10/6(水)

＜メークアップ＞

3名 福澤・西村・滝口 会員

＜ゲスト＞



モーさん(左)と國岡支店長(右)

地区から卓話講師として
秋森三男様(相模原西RC)
河合賢治様(鎌倉大船RC)
米山記念奨学生 モーさん
入会前ゲストとして明治安田生命保険
平塚支社長 國岡久資様

＜本日のスマイル＞

13名

＜卓話・行事予定＞

- 9月30日(木) 平塚市教育委員長 吉柳恵子様
- 10月7日(木) 元短期大学教授・作家 櫻井誠子様
- 14日(木) →10/17(日) 地区大会
(大磯プリンスホテル)へ振替
- 21日(木) 地区大会報告 桐本会長
- 28日(木) 「よい音楽に親しむ会」
会場：豊田小学校

＜市内例会変更＞

現在ございません。